

## 金沢別院飛地境内

### 東山蓮如堂 (金沢市子来町)



4月25日 蓮如上人御忌  
10月25日 報恩講



▶東山蓮如堂にある  
蓮如上人像

### 西山蓮如堂 (金沢市長坂町)



5月25日 蓮如上人御忌  
9月25日 報恩講

### ききょうしき 帰敬式(おかみそり)を受けましょう

法名は、釈迦・諸仏の仏弟子としての名であり、帰敬式は、真宗の教えを依り処として生活する門徒となることを誓う大切な儀式です。詳しくは、金沢別院事務所または金沢教務所(☎265-5191)までお問い合わせください。



参拝記念スタンプ

年 月 日参拝

毎日 晨朝(おあさじ) 午前7時  
毎日 おやま定例法話 午後1時30分  
毎週日曜日 日曜講演 午前9時  
テレホン法話 (076)261-4001

## 真宗大谷派 金沢別院

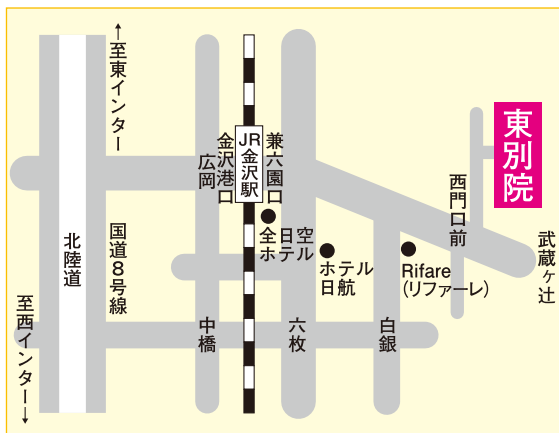
〒920-0854 金沢市安江町15番52号  
TEL(076)261-6432(代) FAX(076)265-6122

おやまねっと

検索



学校法人 金沢幼稚園 TEL(076)231-0287



真宗  
大谷派

金沢別院



KANAZAWA HIGASHI BETSUIN

## 収骨・納骨 永代祠堂経・申経等のご案内

真宗門徒である私たちは、本山 真宗本廟(東本願寺)や大谷祖廟、別院への納骨をご縁に親鸞聖人に出会い、念仏によって俱に出会う世界(浄土)を見出していくことが願われています。

- 須弥壇収骨 (本堂)※
- 納骨堂納骨 (金沢真宗会館納骨堂)※
- 永久預かり (金沢真宗会館納骨堂)※
- 一時預かり (金沢真宗会館納骨堂)※
- 永代祠堂経 ※
- 申経 ※
- 還帰法要

※は予約制となっておりますので、事前に金沢別院事務所にご連絡ください。

## 仏前結婚式をしましょう



お問い合わせは金沢別院事務所まで



■金沢真宗会館(ホール・研修室・納骨堂)



本願寺第十代證如上人御影

本願寺第十二代教如上人御影



▲大門(昭和32年竣工)

▲釈迦三尊(釈尊・弥勒菩薩・阿難尊者)の木像が安置され天井には、木村杏園作の龍図がある



鐘楼堂(平成13年再建)



あかほんくん

横安江町商店街



親鸞聖人像



親鸞聖人童児像



紙本金地著色盛上菊図六曲屏風：江戸時代前期 (石川県立美術館保管/県指定文化財)



### 金沢別院年中行事

1月1日	修正会
3月	春彼岸会
6月26~28日	特別永代経会・年忌法要
7月13~16日	盂蘭盆会
7月24~28日	暁天講座
9月	秋彼岸会
11月13~18日	報恩講
12月31日	歳末勤行
毎月12・27日	両度御命日(速夜)午後1時
毎月13・28日	両度御命日(日中)午前9時



弥陀の本願信ずべし  
本願信するひとほみな  
摂取不捨の利益にて  
無上覚をばさとするなり  
「正像末和讃」

### 真宗大谷派 金沢別院のあゆみ

真宗大谷派金沢別院は、ひろく東別院と呼ばれ、宗祖親鸞聖人があきらかにされた念仏を聞法する道場です。

金沢別院の歴史は戦国時代にさかのぼります。天文一五年(一五四六)加賀国石川郡の門徒衆によって、いまの金沢城公園に建立された「みたう(御堂)」に始まります。「御堂」には、本願寺第十代證如上人から、木仏本尊・親鸞聖人御影などが授与され、本格的な寺院であったことがわかります。やがて一向一揆の拠点となり、「御山」と称されるようになりました。天正八年(一五八〇)織田信長の将柴田勝家勢の攻撃をうけ、陥落しました。

その後、金沢城に入った前田利家と和睦、再興がなりました。慶長七年(一六〇二)第十二代教如上人が東本願寺をおこすと、これを支持する加越能三ヶ国の門徒衆が新たに御坊を建立、「東末寺」として出発することになりました。寛永一一年(一六三四)現在地に寺基を定め、たびたびの炎上をのりこえ、よく復興を遂げました。

現在の本堂は、昭和三七年(一九六二)焼失後、同四六年に完成しました。焼失をまぬがれた大門(同三二年竣工)楼上天井には木村杏園の描く龍図があります。旧鐘楼堂の梵鐘は天文一四年(一五四五)の銘を有しています。

東別院は、いまの時代のもつ課題を受けとめ、生命の尊さを語りかけていきたいと考えています。